

第21回日本加速器学会総会

2023年8月29日

日本大学理工学部船橋校舎 13号館1325教室・1326教室

式次第

1. 会長報告/法人化決議
2. 広報・ウェブ幹事報告
3. 編集幹事報告
4. 庶務幹事報告
5. 行事幹事報告
6. 会計幹事報告
7. 学会活性化幹事報告



Particle Accelerator Society of Japan

法人化について

加速器学会の一般社団法人化を念頭に、今期より「加速器学会の一般社団法人化検討タスクフォース」(以下、タスクフォース)を立ち上げ、課題の整理、制度設計などをおこなってきた。その結論を受けて、説明会等を行い、会員のみなさまの理解を得ながら、法人化の準備をすすめてきた。

- 2023年7月19日(水):第38回評議員会において全評議員の3/4以上の賛成をもって、総会への提案を了承。
- 本日の総会で、全会員の3/4以上の賛成が得られれば、加速器学会の一般社団法人化が決定される。

次ページに続く

法人化の概要

- (1) 2024年4月1日に一般社団法人日本加速器学会を設立する。
- (2) 任意団体である日本加速器学会の財産、会員等全ての権利・義務に関して、設立された一般社団法人日本加速器学会への移行を行う。
- (3) 一般社団法人日本加速器学会への財産寄付が済み次第、任意団体である日本加速器学会を解散する。

法人化:今後のスケジュール

- 本日、2023 年8月29日の総会で法人化の議決（任意団体の加速器学会の一般社団法人日本加速器学会設立後の解散及び財産、会員等全ての権利・義務に関する移行を議決）
- 2023 年11 月、選挙（新法人での代議員、会長を選ぶ）
- 当選した新会長は理事、監事を選定する
- 2024 年4 月1 日、一般社団法人日本加速器学会を設立
- 2024 年4 月1 日以降、一般社団法人日本加速器学会への財産寄付が済み次第、任意団体の加速器学会を解散

この後に議決を取ります

持続可能な学会運営について

- 若手支援について
 - 初の海外開催として韓国で行われた加速器国際スクール(ISBA 23)への支援(参加者の一部交通費補助)を行った。これまでの日、韓、中、台、印に加え、タイが参加。今後も各国での開催が予定されており、国際的な若手育成として学会としても協力していく。
- 男女共同参画について
 - 加速器学会は男女共同参画学協会連絡会に加盟しているが、リエゾンを引き続き会長が担当する。
- オンラインフォーラムについて
 - 学会の抱える課題を掘り起こし、議論する場として、特別委員会の協力のもと、オンラインフォーラムを実施。今後も同様の試みを継続。

加速器俯瞰図について

- 加速器の社会的な認知向上のため、加速器とその利用を俯瞰的に示すロードマップの作製に向けて、タスクフォースを組織。これまでに会合を8回開催。
- 学会WEBへの掲載を準備中。また他のメディア(パンフレット等)も検討。

TFメンバー

栗木雅夫(広島大)、一宮亮(ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ)、榎本嘉範(KEK)、大谷将士(KEK)、加藤新一(三菱総研)、上垣外修一(理研仁科)、笹公和(筑波大)、佐藤潔和(東芝)、島田美帆(KEK)、想田光(山形大)、中村哲朗(ミラプロ)、増田開(QST)、吉田昌弘(金属技研)

以下の承認を求める。

- (1) 2024 年 4 月 1 日に一般社団法人日本加速器学会を設立する。
- (2) 任意団体である日本加速器学会の財産、会員等全ての権利・義務に関して、設立された一般社団法人日本加速器学会への移行を行う。
- (3) 一般社団法人日本加速器学会への財産寄付が済み次第、任意団体である日本加速器学会を解散する。

説明

これまでの経緯については会長報告の通りである。一般社団法人は法人法に従う必要があるが、できる限りこれまでの運営に近づけるように制度設計した。大きな違いは以下の通り。

- 法人では、最高意思決定機関が代議員総会(法人法上の社員総会。現在の評議員会に相当)となる。これまでの全会員による総会は会員集会として位置づけ、理事会は会員集会で出された意見を尊重しながら学会運営を行うものとする。
- 代議員選挙に、これまで行われてきた推薦による方法に加え、自らの意思による立候補を受け付けることとした。
- シニア会員の新設。
- 年会の組織委員会を、現在の実質的な機能である年会開催地の検討に機能を集約し、年会開催地検討委員会の名称とする。

採決

- 委任状数の確認
- 総会出席者数の確認

本議案に反対の方の挙手を求めます。

第41条 本会を解散するには、評議員会および総会のそれぞれにおいて、評議員現在数および正会員と名誉会員を合わせた現在数の3/4以上の議決を経なければならない。

第42条 本会の解散に伴う残余財産の処分は、評議員会および総会のそれぞれにおいて、評議員現在数および正会員と名誉会員を合わせた現在数の3/4以上の議決を経て、本会の目的に類似の事業に寄付するものとする。

※8月29日現在会員数 954名 → 716名 で3/4以上

広報ウェブ委員

広報幹事: 田村文彦(原子力機構J-PARC)

宮本篤(東芝エネルギーシステムズ株)、田中俊成(日大)、

菊澤信宏(原子力機構J-PARC)、佐藤政則(KEK)、古川和朗(KEK)、

紀井俊輝(京大)、永井良治(量研機構)

活動内容

○通常活動(学会ウェブページの運営)

- ・ 公募・国内外会議の情報を随時更新している。コロナ禍による会議等の中止や延期等はまだ続いているため、皆様からも情報をお寄せください。
- ・ 加速器施設／大学等の情報もぜひお寄せください。

○年会参加申込・発表登録システム・年会ホームページの運用

- ・ 第17回、第18回、第19回年会はオンライン開催であった。第20回は船橋市での現地開催となった。参加システムの運営を行っている。

広報ウェブ幹事報告(2/3)



活動内容

○年会プロシーディングス編集作業

第20回年会プロシーディングス編集作業は、編集協力者を募集

- ・ 16名より協力の申し出があった
- ・ 編集作業説明会は開催せず、説明資料をメールで送付する
- ・ 編集作業を円滑に進めるための専用ウェブページで運用
- ・ 来年第21回よりJaCoWと同様に参考文献をページ数制限に含めないものとする。

○学会誌閲覧ページの運用

学会誌「加速器」7巻から最新号までJ-STAGEでの公開(併用)に移行
(詳細は編集幹事報告へ)

○オーラルヒストリー

- ・ 第1回分を公開、第2回は準備中(最終確認作業が遅れています)
- ・ アンケートを実施し感想を求めるとともに、編纂作業への協力者を募りたい

○学会Twitterについて

- ・ 2018年7月から日本加速器学会のTwitterアカウントを運用中。投稿は広報幹事と会長で、加速器に関すること、日本の著者による論文の紹介を行っている。
- ・ 学会員向け連絡的な投稿も行っているが、加速器学会フォロワー数を増やすことでより実用的なものとしたい。
- ・ 学会アカウント @pasj jp のフォローをお願いします。

広報ウェブ幹事報告(3/3)



○今後の計画

- マイページと学会誌・年会ページの認証統合を計画していたが、年会オンライン化と学会誌のJ-STAGEへの移行により、一時休止中。統合範囲については、再度検討中。

The screenshot displays the official website of the Particle Accelerator Society of Japan (PASJ). The header features the PASJ logo and the text 'Particle Accelerator Society of Japan 日本加速器学会'. A navigation menu on the left includes links such as 'マイページ', 'HOME', '会長メッセージ', '学会について', '年会', '学会活性化', '会議開催情報', '公募情報', '刊行物', '学会誌「加速器」', '年会プロシーディングス', '学会編集書籍の紹介', 'オールラヒストリー', and '特集'. The main content area is titled 'Home > 刊行物 > 学会編集書籍の紹介 > このコンテンツ' and '学会編集書籍の紹介'. It contains a paragraph stating that the page introduces books edited and written by PASJ members. Below this, the title 'ADVANCES in ACCELERATORS AND MEDICAL PHYSICS' is displayed, followed by '紹介文 (2023年)'. A book cover for 'Advances in ACCELERATORS AND MEDICAL PHYSICS' is shown, along with a detailed introduction text mentioning its publication by Elsevier and its focus on the latest status of accelerators and medical physics. The text also mentions a 30% discount for PASJ members and provides information on how to purchase the PDF version. At the bottom, there is a section for '出版情報'.

編集幹事報告(1/6)



編集委員

編集委員長 川瀬啓悟(QST)

編集委員

赤木智哉(QST), 五十嵐進(KEK), 伊藤正俊(東北大), 今尾浩士(理研),
大塚崇光(宇都宮大), 帯名崇(KEK), 金正倫計(JAEA),
設楽哲夫(KEK), 島田美帆(KEK), 末次祐介(KEK), 住友洋介(日本大),
想田光(山形大), 田村文彦(J-PARC), 出羽英紀(JASRI),
藤本將輝(名古屋大), 安田浩昌(東芝エネルギーシステムズ),
依田哲彦(大阪大), 涌井崇志(QST)

編集幹事報告(2/6)



今後の発行予定(毎年、4回発行)

第20巻3号(2023年10月末)	原稿締切7月末
第20巻4号(2024年1月末)	原稿締切10月末 特集号
第21巻1号(2024年4月末)	原稿締切1月末
第21巻2号(2024年7月末)	原稿締切4月末

学会誌での特集企画

*第12巻から、1月末に発行される第4号を特集号として学会誌を編成している

第12巻「広がる加速器の利用」／第13巻「広がる加速器の利用
中性子」／第14巻「国際リニアコライダー(ILC)計画と新しい科学
プロジェクトのあり方」／第15巻「本格始動！ SuperKEKB 加速器
」／第16巻「加速器と超伝導技術」／第17巻「大強度不安定核ビ
ーム」／第18巻「加速器とハイパワー標的技術」／第19巻「レーザ
ー加速」



20巻4号での特集テーマ「サイクロトロン」

編集幹事報告(3/6)



■ J-STAGEに学会誌「加速器」を登載中(7巻1号から)

✓ 学会誌ページの「会員専用WEB閲覧Key入力」から以下のPW取得可能

- ・ 学会誌WEB閲覧用認証パスワード
- ・ J-STAGEを閲覧用、「購読者番号」「パスワード」

[<トップページへ戻る>](#)

バックナンバー目次

J-STAGEのアイコンのある巻号は、アイコンをクリックするとJ-STAGEのページが開きます。J-STAGEの会員限定記事の閲覧に必要な「購読者番号」と「パスワード」は、本ページの「会員専用WEB閲覧key入力」によりメールでお知らせします。



J-STAGE Vol.19 No.1
2022年4月30日発行



ロゴをクリックするとJ-STAGEへ遷移



J-STAGE Vol.18 No.1
2021年4月30日発行



J-STAGE Vol.18 No.2
2021年7月31日発行



J-STAGE Vol.18 No.3
2021年10月31日発行



J-STAGE Vol.18 No.4
2022年1月31日発行



Accelerator

Online ISSN : 2436-1488
Print ISSN : 1349-3833

資料トップ 巻号一覧 特集号 この資料について

J-STAGEトップ / 加速器 / 巻号一覧

検索 このジャーナル内を検索する 検索 OR 閲覧 19巻 1号 ページ 閲覧

詳細検索

巻号一覧

最新号

選択された号の論文の9件中1〜9を表示しています

メタデータをダウンロード すべての抄録を表示する

巻頭言

加速器の未来に向
熊谷 教孝
2022年19巻1号 p. 1
発行日: 2022/04/30
公開日: 2022/05/10

DOI <https://doi.org/10.50868/pasj.19.1.1>

ジャーナル 認証あり

PDF形式でダウンロード (270K)

第10期会長から

学会の役割

栗木 雅夫
2022年19巻1号 p. 2-3
発行日: 2022/04/30
公開日: 2022/05/10

編集幹事報告(4/6)



■ 学会誌記事(学会web)のダウンロード数 (2022.08.01 – 2023.07.31)

- 2018年8月から、会員は最新号から全ての記事が閲覧可能。非会員でも、出版から1年を過ぎた記事と1年未満の編集委員会推薦記事については閲覧を可能。
- J-STAGE登載分含まず。

	DL数	巻	号	分類	タイトル	主著者
1 (1)	3297	16	4	特集	超伝導入門	荻津透, 古屋貴章
2 (2)	2463	8	4	解説	真空中の放電現象	小林信一
3 (3)	1398	13		特集	加速器を用いた中性子源	鬼柳善明
4 (5)	1218	2	2	加速器と社会	港湾・空港セキュリティとX線検査	萬代新一
5 (?)	817	9	3	話題	EPICSを使った制御システム入門	中村達郎
6 (?)	695	12		特集	加速器を用いた半導体デバイスへの放射線照射試験	牧野高紘
7 (7)	688	16	4	特集	実用超伝導材料開発の歴史と将来に向けての動向	淡路智
8 (?)	599	13	1	話題	ECR イオン源の開発—理研での結果を中心に	中川孝秀
9 (10)	551	2	2	話題	PET用小型サイクロトロンの開発	熊田幸夫
10(?)	547	13		特集	半導体の耐性試験—加速器によるシングルイベント耐性の実測評価—	小林和淑

*() は前年の順位

** 昨年1位のダウンロード数は4750件 (2021.08.01 – 2022.07.31)

PDF総ダウンロード数 51631

編集幹事報告(5/6)



■ 学会誌記事(J-STAGE)のダウンロード数 (2022.08.01 – 2023.07.31)

	DL数	巻	号	分類	タイトル	主著者
1	48467	20	1	談話室	育児休業のすすめ:ニューヨークで専業主夫になった物理学者	久保毅幸
2(1)	442	18	3	解説	次世代パワー半導体技術の最新動向	田中保宜
3(2)	306	18	2	話題	電子線形加速器を利用した医療用放射性核種の製造	田所孝広
4(3)	296	18	2	解説	加速器施設廃止のための放射化の測定と評価	松村宏
5	198	19	1	話題	高信頼・高保守性・高輝度ビーム特性を備えたグリッド付き熱陰極RF電子銃の開発	安積隆夫
6	179	15	3	会議報告	第7回 国際真空放電研究会「MeVArc 2018」	阿部哲郎
7	174	19	4	特集	ハイパワーレーザーの基礎	桐山博光
8	163	19	4	特集	Laser Plasma Accelerator Experimental R&D at the BELLA Center	Kei Nakamura
9	156	17	3	話題	加速器による医療用RIの商業生産	伊藤拓
9(4)	156	18	1	話題	J-PARC Main Ring アップグレード	栗本佳典

*() は前年の順位

** 昨年1位のダウンロード数は433件 (2021.08.01 – 2022.07.31)

PDF総ダウンロード数 64790
(1位を除く 16323)

編集幹事報告(6/6)



■ 発表スライドダウンロード数 (2022.08.01 – 2023.07.31)

	DL数	年会	タイトル	主著者
1(1)	1208	pasj2014	放射化物の管理について	梶本和義(KEK)
2(2)	582	pasj10(2013)	加速器における電子管技術(2)	福田 茂樹(KEK)
3(4)	482	pasj10(2013)	加速器における電子管技術(1)	福田 茂樹(KEK)
4(5)	475	pasj2020	吸着式蓄熱材を用いた大型加速器からの排熱利用に関する研究	佐々木 明日香 (東日本機電開発)
5(3)	405	pasj2019	Neural Network Consoleと組込ボードSPRESENSEではじめるDeep Learningの活用	小林 由幸 (ソニー)

■ Proceedingsダウンロード数 (2022.08.01 – 2023.07.31)

	DL数	年会	タイトル	主著者
1 (3)	357	pasj2020	強化学習による実プラント設備への適用検証	高見 豪 (横河電機)
2	232	pasj2021	教育加速器の設計と建設	福田 将史(KEK)
3 (6)	191	pasj2018	ERL-FELを用いた半導体リソグラフィ用高出力EUV光源	中村 典雄 (KEK)
4	166	pasj7	SiCセラミックスの高周波誘電特性の制御	竹内 保直 (KEK)
5	164	pasj2020	Raspberry Pi を用いたEPICS制御システムのリアルタイム性能試験	王 迪 (総研大)
5	164	pasj2021	高専における加速器製作活動~AxeLatoon~	大谷 将士 (KEK)
7	161	pasj10	低温領域でのSiCセラミックスの高周波誘電特性	竹内 保直 (KEK)
8	159	pasj2018	加速器施設における耐放射線性LED照明の実証試験	上川 将章 (関電工)
9 (9)	151	pasj2020	Present Status of Digital Feedback and Feedforward Project Using Red Pitaya STEMLab	Ersin Cicek (KEK)
10	142	pasj2018	MQTT broker間のデータ受け渡しによるIoTシステムの実現	石塚 規友紀 (日立造船)

庶務幹事報告(1/5)



学会で協賛・後援・共催の会議等(1/2)

2022年開催の会議等

開催期間	イベント名称	承認日	種類
3月7日(月)-9日(水)	2021年度量子ビームサイエンスフェスタ(オンライン開催)	2021年9月29日	協賛
7月5日(火)	第3回オンライン真空講習会入門講座	2022年6月23日	協賛
7月6日(水)-8日(金)	第59回アイソトープ・放射線研究発表会 (現地開催またはオンライン開催)	2021年9月30日	後援
7月7日(木)-8日(金)	第14回核融合エネルギー連合講演会(オンライン開催)	2022年2月18日	協賛
8月18日(木)-26日(金)	第16回大学生のための素粒子・原子核スクール サマーチャレンジ(現地開催)	2022年2月9日	後援
9月10日(土)-12日(月)	第65回放射線化学討論会	2022年5月20日	共催
9月11日(日)-16日(金)	The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22) (現地開催またはハイブリッド開催)	2022年1月19日	協賛
10月16日(日)-21日(金)	ALC' 22(14 th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Device's 22)	2022年5月24日	協賛
10月26日(水)-28日(金)	日本中性子科学会 第22回年会(JSNS2022)	2022年5月18日	協賛
11月21日(月)-29日(火)	国際加速器スクールISBA22	2022年7月14日	協賛
11月30日(水)	2022年度理研小型中性子源システムRANSプロジェクトシンポジウム ついに始まった中性子現場利用	2022年10月31日	協賛

庶務幹事報告(2/5)



学会で協賛・後援・共催の会議等(2/2)

2023年開催の会議等

開催期間	イベント名称	承認日	種類
1月29日(日)	QST量子声明・医学部門 第1期中期計画研究成果発表会 「“量子”と“生命・医学”の難しくない話」	2022年11月28日	後援
3月9日(木)-10(金)	第27回広島放射光国際シンポジウム	2023年2月8日	協賛
3月13日(月)	ニュースバルシンポジウム2023	2022年12月8日	協賛
3月13日(月)-15日(水)	2022年度量子ビームサイエンスフェスタ	2022年10月11日	協賛
5月23日(火)-26日(金)	第58回真空技術基礎講習会	2023年3月9日	協賛
6月7日(水)	日本表面真空学会 真空技術部会 2023年6月研究例会「真空とビーム応用」	2023年4月12日	協賛
6月25日(日)-30日(金)	International Symposium on Discharge and Electrical Insulation in Vacuum (ISDEIV2023) (現地開催)	2021年9月14日	後援
7月5日(水)-7日(金)	第60回アイソトープ・放射線研究発表会	2022年9月16日	後援
7月5日(木)-2024年2月15日(木)	第4回オンライン真空講習会入門講座	2023年4月24日	協賛
8月3日(木)-12日(土)	国際加速器スクールISBA23	2023年5月9日	共催
8月18日(金)-27日(日)	第17回大学生のための素粒子・原子核スクール サマーチャレンジ	2023年2月8日	後援
8月29日(火)-9月1日(金)	第60回(2023年度)真空夏季大学	2023年4月24日	協賛
9月5日(火)-2024年2月15日(木)	第3回オンライン真空応用技術講座	2023年4月24日	協賛
9月5日(火)-2024年2月15日(木)	第4回オンライン真空講習会	2023年4月24日	協賛
9月13日(水)-14日(金)	日本中性子科学会第23回年会(JSNS2023)	2023年5月11日	協賛
9月27日(水)-29日(金)	第66回日本放射化学会	2023年6月9日	共催
10月31日(火)-11月2日(木)	2023年日本表面真空学会学術講演会	2023年7月28日	協賛

庶務幹事報告(3/5)



会員数推移

調 査 日	正 会 員(名誉会員含む)	賛助会員	購読会員	購読会員(書店)
2015年3月1日	812名(うち学生47名)	54社	10社	1社
2015年7月20日	862名(うち学生53名)	56社	10社	1社
2016年3月1日	836名(うち学生48名)	56社	9社	1社
2016年7月20日	862名(うち学生53名)	57社	9社	1社
2017年3月1日	837名(うち学生40名)	56社	8社	1社
2017年7月20日	879名(うち学生37名)	58社	8社	1社
2018年3月1日	866名(うち学生36名)	60社	9社	1社
2018年7月20日	896名(うち学生45名)	60社	9社	1社
2019年3月1日	904名(うち学生42名)	60社	8社	1社
2019年7月20日	930名(うち学生54名)	62社	8社	1社
2020年3月1日	920名(うち学生54名)	63社	9社	1社
2020年7月20日	944名(うち学生66名)	64社	9社	1社
2021年3月1日	929名(うち学生60名)	64社	9社	1社
2021年4月15日	914名(うち学生61名)	65社	9社	1社
2021年7月20日	936名(うち学生65名)	67社	9社	1社
2022年4月15日	905名(うち学生64名)	65社	9社	1社
2022年7月20日	936名(うち学生68名)	68社	9社	1社
2023年4月15日	910名(うち学生62名)	64社	8社	1社
2023年7月20日	959名(うち学生74名)	64社	8社	1社

庶務幹事報告(4/5)



1. 加速器中性子連携タスクフォース

インフォーマルミーティング開催(8月30日夕刻)

KUR電子加速器の現状、KURサイクロトロン of 現状 他 (岩下、内藤)

中小型加速器中性子源のうちでもビーム強度が10kW以上と比較的大きな2つの中性子源の現状について紹介して頂き、今後、加速器中性子源を建設する上で、中性子側の要望とそれに対応した加速器に関する検討事項を議論する。

2. 外部団体への推薦

日本学術振興会 育志賞(2023年度募集分)

→ 終了

東レ科学振興会 東レ科学技術賞、東レ科学技術研究助成 (2023年度募集分)

→ 応募なし

ヒロセ賞(令和4年度募集分)

→ 募集中

山田科学振興財団 2023年度研究援助

→ 2件推薦、1件採択

庶務幹事報告(5/5)

- 会長・評議員選挙について

今回の選挙は法人化後の会長、代議員を選ぶものになります。
代議員には従来の推薦のほか、本人立候補も可能となります。
詳しくは31日に配信される予定の案内をご覧ください。

【選挙の流れ】

8月下旬 選挙管理委員会設置

8月31日 予備選挙の案内配信・送付・立候補受付開始

(9月中旬～10月上旬 ウェブまたは郵送による予備選挙投票期間)

10月上旬 予備選挙の開票

(候補者に辞退希望の確認、会長候補者の抱負準備)

10月下旬 本選挙の案内配信・送付

(10月下旬～11月上旬 ウェブまたは郵送による本選挙投票期間)

11月中旬 本選挙の開票、結果報告

行事幹事報告(1/8)



行事委員 (※3名増員)

原田 寛之	行事幹事／日本原子力研究開発機構 J-PARC
仲井 浩孝	前行事幹事／高エネルギー加速器研究機構
田村 文彦	広報幹事／日本原子力研究開発機構 J-PARC
菊澤 信宏	予稿集・論文集担当／日本原子力研究開発機構 J-PARC
清水 洋孝	会場・企業展示担当／高エネルギー加速器研究機構
黒田 隆之助	プログラム担当／産業技術総合研究所
坂上 和之	プログラム担当／東京大学
※ 大谷 将士	プログラム担当／高エネルギー加速器研究機構
佐藤 政則	年会ウェブ担当／高エネルギー加速器研究機構
紀井 俊輝	年会ウェブ担当／京都大学
※ 田中 俊成	年会発表申込システム担当／日本大学
※ 山本 尚人	年会発表申込システム担当／高エネルギー加速器研究機構
池田 伸夫	第19回組織委員長／九州大学
若狭 智嗣	第19回実行委員長／九州大学
諏訪田 剛	第19回プログラム委員長／高エネルギー加速器研究機構
早川 恭史	第20回組織委員長／日本大学
境 武志	第20回実行委員長／日本大学
肥後 寿泰	第20回プログラム委員長／高エネルギー加速器研究機構
岩井 岳夫	第21回組織委員長／山形大学
想田 光	第21回実行委員長／山形大学
門叶 冬樹	第21回プログラム委員長／山形大学

行事幹事報告(2/8)



第20回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催: 日本大学量子科学研究所電子線利用研究施設
- 後援: 日本大学理工学部、船橋市
- 協賛: (公財)ちば国際コンベンションビューロー
- 会期: 2023年8月29日(火) ~ 9月1日(金)
- 会場: 日本大学理工学部船橋キャンパス
- 見学: キャンパス内7施設から3施設を回る3コースから選択
- 特別講演・懇親会: 未実施
- 実施体制:

組織委員長	: 早川 恭史 (日本大学)
プログラム委員長	: 肥後 寿泰 (KEK)
実行委員長	: 境 武志 (日本大学)

4年ぶりの現地開催

行事幹事報告(4/8)



第1回 学生・企業/研究機関懇談会（新企画）

- 目的: 本懇談会は、次世代を担う学生と企業や研究機関などを繋ぎ、相互コミュニケーションを図り、学生の将来不安の解消の手助け、業界における即戦力となりうる人材確保の手助けなどに繋げることを目的としている
- 主催: 学会活性化特別委員会、行事委員会
- 日時: 2023 年 8 月 28 日(月) 18時～21時、年会会期前日
- 会場: Zoomミーティング ブレイクアウトルーム
- 出展企業: 15企業/研究機関/プロジェクト
- 参加費: 無料

アンケートにて多くのコメントをいただきました。ありがとうございました。
来年度は第2回を実施予定です。
ご協力の程、よろしくお願いいたします。



行事幹事報告(5/8)



第21回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催： 山形大学
- 会期： 2024 年 7 月 31 日(水) ～ 8 月 2 日(金)、3 日(土)は見学
(8 月 5 日(月)～7 日(水)は、山形花笠まつり)
- 会場： 山形テルサ (JR山形駅から徒歩10分)
- 特別講演： やまぎん県民ホール (山形テルサの隣)
- 懇親会： 実施予定、会場選定中
- 見学： 山形大学医学部東日本重粒子センター
山形大学高感度加速器質量分析センター
- 実施体制：

組織委員長	：	岩井 岳夫 (山形大学医学部)
プログラム委員長	：	門叶 冬樹 (山形大学高感度加速器 質量分析センター)
実行委員長	：	想田 光 (山形大学医学部)

行事幹事報告(6/8)



第22回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催： 東京工業大学(⇒東京科学大学)、東京都市大学、東京大学
- 会期： 2025 年 8 月 5 日(火) ～ 8 日(木) (予定)
- 開催地： 東京都
- 会場： 東京近郊で選定中
- 特別講演： 検討中
- 懇親会： 実施予定、会場選定中
- 見学： 検討中
- 実施体制： (法人化後、委員長の名称は変わる可能性あり)
 - 組織委員長 ： 林崎 規託 (東京工業大学)
 - プログラム委員長 ： 坂上 和之 (東京大学)
 - 実行委員長 ： 羽倉 尚人 (東京都市大学)

第23回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催：量子科学技術研究開発機構 次世代放射光施設整備開発センター
- 会期：2026年7月下旬～8月下旬の内、3日間 か 4日間
- 開催地：宮城県仙台市
- 会場：検討中
- 特別講演：検討中
- 懇親会：検討中
- 見学：3GeV高輝度放射光施設ナノテラス(予定)
- 実施体制：（法人化後、委員長の名称は変わる可能性あり）
 - 組織委員長：西森 信行（量子科学技術研究開発機構）
 - プログラム委員長：安積 隆夫（量子科学技術研究開発機構）
 - 実行委員長：上島 考太（量子科学技術研究開発機構）

行事幹事報告(8/8)



加速器学会年会の運営について

プロシーディングス提出期限の厳守にご協力を

- 提出期限は年会会期後(9月4日(月) 24:00)です。

アンケートにご協力を

- 会員、参加者の声でより良い年会にしていきたいです。

企業展示にお越しいただき、ご商談・ご歓談を

- 年会収入は企業展示の出展費で支えられています。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

会計幹事報告(1/9)

2022年度日本加速器学会決算報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
会費収入		11,172,600	11,177,600	11,057,600
正会員	当年度分(96件+前年度前受金708件)×8,000円、1件×4,000円、 過年度分15件×8,000円、9件×6,000円	6,752,000	6,728,000	6,610,000
学生会員	当年度分(24件+前年度前受金30件)×3,000円、 過年度分6件×3,000円、5件×2,000円	163,000	192,000	190,000
賛助会員	当年度分(65口+前年度前受金280口)×12,000円	4,140,000	4,140,000	4,140,000
購読会員	当年度分9口×12,000円	108,000	108,000	108,000
書店経由購読会員	当年度分1口×9,600円	9,600	9,600	9,600
事業収入		6,813,979	14,786,600	6,630,199
会誌販売収入	学会誌売上	0	0	0
会誌別刷・カラー印刷収入	「加速器」Vol.19,No.1～No.4	643,379	500,000	891,099
会誌広告収入	「加速器」Vol.19,No.1～No.4	1,139,600	1,139,600	1,139,600
学術的会合収入	第19回年会	5,031,000	13,147,000	4,599,500
雑収入		84	0	140
受取利息		84	0	140
還付金		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		17,986,663	25,964,200	17,687,939

会計幹事報告(2/9)

支出の部

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
学会誌出版費		5,121,866	5,195,575	4,953,747
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・発送・編集	4,820,431	4,900,000	4,585,487
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	55,860	50,000	154,860
J-Stage掲載費	「加速器」Vol.19,No.1～No.4 J-Stage掲載費	245,575	245,575	213,400
運営費		4,067,904	12,762,200	6,001,092
学術的会合支出	第19回年会開催費	4,032,036	12,316,000	5,860,892
学会賞費	賞状用紙等	16,200	16,200	8,100
会場費	Webexサブスクリプション	19,668	30,000	0
旅費	各委員会旅費	0	400,000	132,100
事務業務費		4,077,003	4,087,000	3,962,483
基本業務委託費	国際文献社基本料金	3,295,441	3,400,000	3,263,204
基本以外	法人税・消費税申告 (予算案では以下の内訳を一括して評価)	187,000	187,000	187,000
通信費	サーバー使用料等	504,991	500,000	512,279
備品費	封筒印刷費	以下、内訳		以下、内訳
事務用品費		62,964		62,964
消耗品費		110,000		110,000
運送費		0		0
事務局旅費	宅配便等	0		0
支払手数料	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	90,691		79,140
振込手数料	ドメイン使用料	0		0
他団体発行賞への学会推薦対応		9,130		9,130
選挙費	銀行振込、年会会期以外のカード決済、Paypal手数料、受取人払時の手数料	166,206		163,045
その他	会長・評議員選挙	66,000		88,000
年会特別講演撮影		89,571	0	0
オーラルヒストリー編纂		599,100	2,110,000	1,401,160
J-Stage掲載費	「加速器」Vol.7,No.1～Vol.15,No.1(33号/359記事)	0	100,000	0
英文校閲費	Accelerator and Medical Physics誌	0	100,000	0
男女共同参画学協会連絡会	第20期分担金、聴講参加費	423,500	1,000,000	943,800
若手支援		0	100,000	63,360
租税公課	法人税、消費税	13,000	10,000	12,000
租税公課		0	600,000	200,000
租税公課		162,600	200,000	182,000
支出合計		13,865,873	24,154,775	16,318,482

会計幹事報告(3/9)



収支差額・剰余金

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
収支差額		4,120,790	1,809,425	1,369,457
前期繰越剰余金		8,239,492	12,360,282	12,360,282
次期繰越剰余金		12,360,282	14,169,707	13,729,739

2022年度貸借対照表

2023年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金および預金		前受金	
		正会員会費(2023年度705件×8,000円、1件×6,000円)	
		(2023年度1件×2,000円)	
		(2024年度2件×8,000円)	5,664,000
三菱UFJ銀行残高	6,022,622	学生会員会費(2023年度30件×3000円)	90,000
みずほ銀行(年会用口座)残高	9,271,058	賛助会員会費(305口×12000円)	3,660,000
郵便振替貯金残高	11,228,289	書店購読会員会費(1口×9600円)	9,600
手持ち現金残高	0	未払金	
		国際文献社 1-3月分委託費	1,097,915
未収金	325,987	国際文献社 Paypal手数料	6,600
		国際文献社 第19回年会業務委託費	2,445,782
		第20回年会視察費用	8,220
		編集委員会旅費	120,100
		預り金	
		2023年度会費 返金分	16,000
		前期繰越剰余金	12,360,282
		当期収支差額	1,369,457
合計	26,847,956	合計	26,847,956

会計幹事報告(4/9)



2022年度資産負債明細

2023年3月31日現在

資 産 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
現金および預金	26,847,956	三菱UFJ銀行残高	6,022,622
		みずほ銀行(年会用口座)残高	9,271,058
		郵便振替貯金残高	11,228,289
		手持ち現金残高	0
		未収金 学会誌「加速器」著者負担金・広告料	325,987
合計	26,847,956	合計	26,847,956

負 債 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
会費前受金(3月31日現在入金分)	9,423,600	正会員会費(2023年度705件×8,000円、1件×6,000円) (2023年度1件×2,000円) (2024年度2件×8,000円)	5,664,000
		学生会員会費(2023年度30件×3000円)	90,000
		賛助会員会費(305口×12000円)	3,660,000
		書店購読会員会費(1口×9600円)	9,600
未払金(3月31日現在)	3,678,617	国際文献社 1-3月分委託費	1,097,915
		国際文献社 Paypal手数料	6,600
		国際文献社 第19回年会業務委託費	2,445,782
		第20回年会視察費用	8,220
		編集委員会旅費	120,100
預り金(3月31日現在)	16,000		
		2023年度会費 返金分	16,000
合計	13,118,217	合計	13,118,217

会計幹事報告(5/9)



剰 余 金 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
前期繰越剰余金			12,360,282
当期収支差額			1,369,457
合計			13,729,739

剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	12,360,282
当期収支差額	1,369,457
次期繰越剰余金	13,729,739

会計幹事報告(6/9)



監査報告書

日本加速器学会の2022年4月1日～2023年3月31日の決算書について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2023年5月24日

日本加速器学会

監事

肥後寿泰



監事

古坂道弘



会計幹事報告(7/9)

2023年度日本加速器学会予算案

(2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部

(単位: 円)

科 目	細 目	2023年度予算(A)	2022年度実績(B)	増減高(A-B)
会費収入		11,172,600	11,057,600	115,000
正会員	849名 × 8,000円	6,792,000	6,610,000	182,000
学生会員	61名 × 3,000円	183,000	190,000	-7,000
賛助会員	340口(64社) × 12,000円	4,080,000	4,140,000	-60,000
購読会員	8口 × 12,000円	108,000	108,000	0
書店経由購読会員	1口 × 9,600円	9,600	9,600	0
事業収入		14,394,100	6,630,199	7,763,901
会誌販売収入	学会誌売上	0	0	0
会誌別刷収入	「加速器」Vol.20, No.1～No.4	680,000	891,099	-211,099
会誌広告収入	「加速器」Vol.20, No.1～No.4	1,139,600	1,139,600	0
学術的会合収入	第20回年会（現地開催）	12,574,500	4,599,500	7,975,000
雑収入		0	140	-140
受取利息		0	140	-140
その他		0	0	0
その他		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		25,566,700	17,687,939	7,878,761

会計幹事報告(8/9)

支出の部

科 目	細 目	2023年度予算(A)	2022年度実績(B)	増減高(A-B)
学会誌出版費		5,170,000	4,953,747	216,253
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・発送	4,800,000	4,585,487	214,513
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	130,000	154,860	-24,860
J-Stage掲載費		240,000	213,400	26,600
運営費		12,925,000	6,001,092	6,923,908
学術的会合支出	第19回年会開催費(現地開催)	12,449,000	5,860,892	6,588,108
学会賞費	賞状用紙等	16,000	8,100	7,900
会場費	会議室使用料	60,000	0	60,000
旅費	各委員会旅費	400,000	132,100	267,900
事務業務費		4,097,000	3,961,823	135,177
基本業務委託費	国際文献社基本料金	3,300,000	3,263,204	36,796
	法人税・消費税申告(税理士、国際文献社)	187,000	187,000	0
基本以外	(予算案では以下の内訳を一括して評価)	520,000	511,619	8,381
事務局出張費			以下、内訳	
通信費	サーバー使用料等		62,964	
	封筒印刷費		110,000	
備品費			0	
事務用品費			0	
消耗品費	コピー用紙、役員名刺代など		0	
運送費	宅配便等		79,140	
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費		0	
支払手数料	ドメイン使用料		9,130	
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料		162,385	
他団体発行賞への学会推薦対応			88,000	
選挙費	会長・評議員選挙	90,000	0	90,000
その他		1,863,000	1,401,160	461,840
年会特別講演撮影	撮影、編集、公開	0	0	0
オーラルヒストリー編纂	聞き取り書き起こし、出張費	100,000	0	100,000
J-STAGE掲載費	1巻1号～6巻4号	950,000	943,800	6,200
英文校閲	今後実施予定無	0	63,360	-63,360
男女共同参画学協会連絡会		13,000	12,000	1,000
学会活性化(若手支援等)		600,000	200,000	400,000
租税公課	法人税、消費税	200,000	182,000	18,000
支出合計		24,055,000	16,317,822	7,737,178

会計幹事報告(9/9)



収支差額・剰余金

科 目	細 目	2023年度予算(A)	2022年度実績(B)	増減高(A-B)
収支差額		1,511,700	1,370,117	141,583
前期繰越剰余金		13,730,399	12,360,282	1,370,117
次期繰越剰余金		15,242,099	13,730,399	1,511,700

学会活性化特別委員会(再掲)

背景

日本の人口減少は著しく、さらに若手の割合が減る、超高齢化社会が迫っています。加速器学会は、最先端科学を支え、広く産業・医療にも利用されている技術であるが、サステナブルな学会運営には若手人材の確保とともに、それを可能にする育成・交流が必須であると考えています。他学会においても同様の活動は見られ、若手の確保などの動きが顕在化しています。

加速器学会を持続可能な団体として維持していくためには、新しい会員の入会、特に若手の研究者や学生の参加が重要であることは明らかで、次世代を担う若手の人材育成として、学会内での若手の交流を行い、つながりを強くするだけでなく、広く関連分野との交流を促進し、加速器学会がより求心力を持つ団体として発展できるよう、若手人材育成を最初の施策としつつ、学会の活性化に関する企画・立案・実行をするための委員会として、暫定的な特別委員会を組織しました。

本特別委員会は第35回評議員会で審議・お認めいただき、特別委員会を組織し、若手活動支援施策から活動を開始しました。

学会活性化幹事報告(2/6)



学会活性化特別委員会

委員長 坂上 和之(東京大学)

委員

全 炳俊 (京都大学)

大谷 将士 (高エネルギー加速器研究機構加速器研究施設(J-PARC))

想田 光 (山形大学)

岡安 雄一 (高エネルギー加速器研究機構加速器研究施設)

鈴木 研人 (高エネルギー加速器研究機構共通基盤研究施設)

オブザーバー:幹事会メンバー

※45歳未満の評議員(2名)とプログラム委員より各カテゴリーからご推薦をいただき、専門とするカテゴリーの偏りなども考慮して決定いたしました。

若手活動支援募集要項

2023年1月より「若手活動支援」の募集を開始しました。(随時受付中)

※詳細は募集ページをご参照ください。

若手活動支援 募集ページ:https://www.pasj.jp/pasj_act.html

若手の皆様からの積極的な応募をお待ちしております！



若手活動支援支援実績

【支援実績】

代表提案者:西 隆博 氏 (理化学研究所)

提案名:若手・学生の研究意欲向上に向けたビーム物理研究会・若手の会の
研究会における旅費補助

支援額:20万円

代表提案者:リプタック ザカリージョン 氏 (広島大学)

提案名:ISBA'23の旅費

支援額:22万円

加速器学会誌にもサポートした会合等の報告がありますので、ご参照ください。

学生・企業(研究機関)懇談会:行事委員会と共同

年会に先立って前日(8月28日夕刻)に「学生・企業(研究機関)懇談会」を行事委員会と共同で実施した。(本資料作成時点では未開催)資料作成時点で15社/研究機関/プロジェクトから出展があり、学生の参加者を本資料作成時で募っている。

すでに出展者などからも、次回に向けた要望・希望なども寄せられており、今回の第1回で得られた知見等を踏まえて、次年度の年会等においても企画を継続していく予定である。

<主旨>

学生と研究機関・企業を繋ぐ機会を増やすべく、年会時に「学生・企業(研究機関)懇談会」を実施する。本企画は、研究機関や企業の現場の声を学生に伝える、学生の研究開発状況を研究機関や企業の現場に伝えるなどで、相互コミュニケーションを図り、学生における就職支援による将来への不安の解消の手助け、業界における即戦力となりうる人材確保の手助けなどに繋げることを目的とする。

学会活性化幹事報告(6/6)



会員フォーラム

第1回会員フォーラムを2023年7月5日(オンライン:Zoom)にて開催した。42名が参加し、会員の持つ課題意識に関して議論した。

- ◆ 参加者及び事前にメール等でいただいていたご意見などから幅広く課題意識を持っていることが明らかとなった
 - ◆ 大学・研究機関と産業界の持つ課題意識のギャップなども明らかとなった
- 今後もフォーラムなどを通して意見交換を継続する予定ある。

